

千葉大学医学部附属病院で卵巣がんの手術をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年3月12日

婦人科

婦人科では、早期卵巣がんの直腸浸潤・癒着における深層学習を用いた術前画像解析に関する研究に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2008年1月1日～2023年12月31日の間に婦人科で卵巣がんと診断され手術を受けた方

1. 研究課題名

「早期卵巣がんの直腸浸潤・癒着における深層学習を用いた術前画像解析に関する研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

卵巣がんが直腸に強く癒着している、あるいは、直接食い込んでいる場合には、卵巣がんとともに直腸も切除することにより、病変を完全に摘出して卵巣がんの再発のリスクを下げます。しかし、卵巣がんと直腸の癒着等を術前に予測する方法は確立されていません。そのため、卵巣がんの術前には、直腸合併切除による身体への影響や術後の合併症のリスクを評価することが困難です。また、消化器外科医の応援要請等の予測が立たず、このことが適切な患者説明や効率的な手術計画を著しく困難にしています。

本研究では、深層学習を導入することで、卵巣がんの直腸浸潤や癒着を予測できるかを調べます。婦人科で手術を行った早期卵巣がん患者さんの術前の造影CT画像もしくは造影MRI画像を用います。本研究により、高性能な術前予測方法の確立を目指し、より

正確な術前診断と適切な患者説明を目指します。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、癌のステージ、組織型
術前に撮影された造影 CT 画像・造影 MRI 画像

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：婦人科 講師 楯真一

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院婦人科および千葉大学フロンティア医工学センターにおいて厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：横手 幸太郎）

婦人科 診療准教授 楯真一

043（222）7171 内線 72644

Email: state@chiba-u.jp